

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

国際政治経済学研究科

国際コミュニケーション専攻 修士課程 <一般入試(秋)>

言語学、異文化コミュニケーション、比較文化論

下記の問題Ⅰ（言語学）、Ⅱ（異文化コミュニケーション）、Ⅲ（比較文化論）より1つを選び解答しなさい。
（2つ以上解答したものは採点しない。）解答は別紙解答用紙を使用し、解答の冒頭に選択した設問番号Ⅰ、Ⅱ、またはⅢを明記すること。

You can write your answer in English. Please specify which question you are answering.

問題Ⅰ

人間言語の持つ離散的無限性(discrete infinity)がどのようなものなのかを、英語、日本語の例を引いて、具体的に詳しく解説しなさい。そして、この離散的無限性が、人間言語の研究において、どのような重要性を持つのかを詳しく述べなさい。

問題Ⅱ

「文化相対主義」とは何かを説明し、その意義と限界を具体的な例を挙げて論じなさい。

問題Ⅲ

グローバル化が文化に与える影響について、あなたの研究分野と関連させて論じなさい。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

国際政治経済学研究科

国際コミュニケーション専攻 修士課程 <一般入試(春)>

言語学、異文化コミュニケーション、比較文化論

下記の問題Ⅰ（言語学）、Ⅱ（異文化コミュニケーション）、Ⅲ（比較文化論）より1つを選び解答しなさい。
（2つ以上解答したものは採点しない。）解答は別紙解答用紙を使用し、解答の冒頭に選択した設問番号Ⅰ、Ⅱ、またはⅢを明記すること。

You can write your answer in English. Please specify which question you are answering.

問題Ⅰ

言語分析の方法を2つ挙げ、それぞれの方法論上の特徴と手順を簡潔に述べなさい。さらに、それぞれの方法に適切な研究テーマを1つずつ例示し、なぜその研究テーマがその分析法にふさわしいのかについて論じなさい。なお、例示する研究テーマは、すでに行われた研究からのものでも、今後取り組むべきと考えるものであっても、どちらでも構わない。

問題Ⅱ

オンラインでの異文化交流は、対面での交流とは異なる形で、異文化コミュニケーションの新たな機会を切り開いている。オンラインでの異文化コミュニケーションについて、対面では得にくい「可能性」と、オンラインだからこそ生じる「課題」をそれぞれ具体的な例を挙げつつ示し、異文化コミュニケーションの理論や概念を参照しながら批判的に論じなさい。

問題Ⅲ

比較文化論の領域で基本となる異文化理解においては、異文化を知ろうとする「主体」と知る対象となる「客体」が存在する。この両者の関係は平等ではなく、しばしば優劣関係が見られると言われてきた。主体と客体の関係性、主体に求められる態度、それを踏まえたうえでの異文化理解の方法についてどのように考えるか、あなたが大学院で研究しようとするテーマと関連づけながら、具体的な例を挙げて論じなさい。